

分類困難な腸炎といっても、誰が、どのようにして、どの程度に検索した結果なおかつ分類困難であったのか、という問題がある。したがってその頻度もおそらく各施設でまちまちであろう。本号主題の筆者はこの方面にも精通した人々であり、その論文は読者を引きつけてやまないところがある。分類困難な腸炎症例を抽出するには、既知の腸の炎症性疾患について全経過を通した臨床像や、病期による形態学的変化を熟知しつつ、そこからはずれていく病態を選別するという困難な作業を伴うもので、深い奥行を感じさせるから

に違いない。詳細な臨床検討から“非特異性多発性小腸潰瘍症”が疾患概念として確立され、その後の臨床経過の追跡がなされたように、分類困難な炎症性腸疾患の中から更に丹念な検索により、新たな病態が確立されることが期待される。またGVHDの腸病変のような新しい医療に関わった新たな疾患も更に増加してくることも予測され、心して対応していかなばと感じている。それについても病変を十分に検索する環境整備が欲しいものである。

胃と腸

11月号（第24巻・第11号）予告

発売予定 11月16日
定価 1,854円(税込)

主題／いわゆる“十二指腸炎”の諸問題

- 主 題** 十二指腸炎の病態……………大阪市大・3内 小林 絢三・他
 十二指腸炎の組織学的診断基準……………富山医大・3内 若林 泰文・他
 内視鏡ルーチン検査の中での十二指腸炎—日本人の十二
 指腸炎のスペクトラム……………関東通信病院 多須賀幸男・他
 内視鏡拡大観察による十二指腸炎……………都立駒込病院・内科 榊 信廣・他
 十二指腸炎の内視鏡所見と生検所見の対比……………富山医大・3内 田中三千雄・他
 急性胃粘膜病変と十二指腸球部病変の関連—急性期の胃粘
 膜病変と十二指腸粘膜病変の内視鏡的対比……………県立がんセンター新潟病院 小越 和栄・他
 胃腺窩上皮化生(胃上皮化生)……………東女医大成人医学センター 山下 克子・他
主 題 症 例 長期経過をみた十二指腸炎の1例……………国立がんセンター・内科 田尻 久雄・他
 十二指腸に興味あるX線所見を呈した糞線虫症の2例……………鹿児島大・2内 小田代一昭・他
今月の症例 ITPに合併した大腸病変……………順大・消内 松川 正明・他

胃と腸（第24巻 第10号）

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1989年10月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,854円(本体1,800円)(配送料80円)

年ぎめ予約購読料 21,136円(本体20,520円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎(03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1989, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・荻原・大竹